

# 平成27年度

## 第1回 室蘭市文化財審議会

と き：平成28年3月24日（木）

13時30分～16時00分

ところ：室蘭市役所 2階大会議室

### 会議次第

- (1) 正副会長の互選 ..... 資料1
- (2) 市内の歴史的建造物について ..... 資料2
- (3) 絵鞆貝塚の発掘調査について ..... 資料3
- (4) 市指定文化財及び出土鉄製品等の保存処理について ..... 資料4
- (5) その他

## ■正副会長の互選

## 室蘭市文化財審議会 委員名簿

氏 名	所 属 団 体 等
堀 井 重 克	全日本刀匠会
井 口 利 夫	北海道文化財保護協会
上 村 勝 義	室蘭神楽保存会
新井山 蘭 牛	室蘭書道連盟
山 田 一 夫	室蘭美術協会
菊 地 富 子	室蘭イタンキ浜鳴り砂を守る会
吉 田 幸 恵	蘭歴建見会

任期：平成27年11月4日～平成29年11月3日

## 室蘭市文化財保護条例（抜粋）

（文化財審議会）

第 20 条 委員会の諮問に応じ、文化財の保存及び活用に関する専門的事項を調査及び審議するため、室蘭市文化財審議会（以下「審議会」という。）を置く。

- 2 審議会委員（以下「委員」という。）は、学識経験を有する者のうちから、委員会が委嘱する。
- 3 委員の数は、10 人以内とする。
- 4 委員の任期は 2 年とし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

## 室蘭市文化財保護条例施行規則（抜粋）

（会長及び副会長）

第 11 条 条例第 20 条に規定する室蘭市文化財審議会（以下「審議会」という。）に会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長の選出は、委員の互選による。
- 3 会長は、審議会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

（会議）

第 12 条 審議会は、会長が招集し、議長となる。

- 2 審議会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。
- 3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

## ■市内の歴史的建造物について

資料2

### 1、これまでの経緯

市内に所在する歴史的建造物について、市民の関心が高まっている

市指定・国登録を除くと、本市では建築物について特別な取り扱いは従前行っていない  
対象物件の評価・保護の在り方について検討を要していた

### 2、前回での審議(要点)

市内に現存し、歴史性や建築上の特性が評価されてきた建造物の一覧(素案)を作成  
歴史・建築・景観・日常といった4項目を設定し、評価付けの試案として示した

(ただし現状改変などで指定等の措置が難しいものや、指定等辞退の物件あり)

分布状況からは、指定・登録といった個別物件保護の在り方が妥当と整理した

歴史的評価には、地域のあゆみ全体を検討した整理の必要性が提起

個別物件の評価にあわせ、検討を継続することとした

### 3、基礎的整理

(室蘭地域の来歴を示すストーリー)

- ◆自然 天然の湾に急峻な断崖など、豊かな自然が今も残る
- ◆考古～アイヌ 縄文早期以降の人の生活が営まれ、先史遺跡やアイヌ語地名も多く残る
- ◆港 慶長年間の絵鞆場所設置はじめ、港が地域発展の中心となる
- ◆開拓(入植) 仙台藩角田領、屯田兵など、明治期・道外入植者による開拓
- ◆石炭(鉄道) 明治25年以來、石炭積出しのため鉄道が引かれ、発展の基盤となる
- ◆鉄鋼(ものづくり) 明治末の日本製鋼所・輪西製鐵創立以來、鉄のまちとして発展
- ◆街並み(生活) 全道でも古くから市街地が形成され、街並みが発展
- ◆戦争 軍需工場が立地したことから、空襲・艦砲射撃による戦禍を受けた

(既指定・登録物件における分野等の偏り)

整理方法 未指定等の物件も含め、年代・文化財分野別の一覧を作成、整理

資料2-1

課題 既指定・登録物件では、年代・分野のばらつきが見られる

- ・ストーリー 多:開拓(入植) / 少:自然、考古～アイヌ、港、街並み、戦争
- ・年代 明治期が主体 幕末以前の歩み(自然、考古～アイヌ)の例に乏しい
- ・分野 多:有形文化財 / 少:建築物、記念物・埋文

→ 評価事例が乏しいストーリー・年代・分野について、指定等に積極的検討

#### 4、建築物に係る評価基準(案)

歴史・建築・景観の3項目を主な評価項目とし、それ以外の特性を考慮しその他項目を追加  
 歴史・建築・景観については、「○・△・×」の三段階を基本とし、特に優れたものを「◎」とする

##### ■歴史特性 (本市の来歴を示す「ストーリー」との関連性により評価)

- ◎ 本市の来歴に極めて密接に関連する物件である
- 本市の来歴に関連する物件である
- △ 本市の来歴にやや関連する物件である
- × 本市の来歴に関連性が乏しい物件である

##### ■建築特性 (様式・工法・意匠など建築技法からの評価)

- ◎ 建築技法上、極めて特異あるいは優れた物件である
- 建築技法上、特異な物件である
- △ 建築技法上、やや特異な物件である
- × 建築技法上、特異な物件ではない

##### ■景観特性 (地域の景観形成に果たす役割により評価)

- ◎ 地域景観形成上、極めて大きな役割を果たしている
- 地域景観形成上、大きな役割を果たしている
- △ 地域景観形成上、一定の役割を果たしている
- × 地域景観形成上、特段役割を果たしていない

##### ■その他 (上記3項目以外の特性についての評価)

- 建造物の評価に影響する特記事項あり
- 建造物の評価に影響する特記事項なし

#### 5、市内所在物件の精査

(基礎一覧掲載物件の整理)

資料2-2

(全件)	(区分)	(物件名)	(参考説明)	42
①同意不可のもの(辞退物件)				16
	国指定相当	日本製鋼所内の建物群	日本の近代化を象徴する建造物	12
	道指定以上	知利別会館	同上	1
	市指定以上	蕙山苑	建築史上の価値が高い	1
	国登録以上	チケウ岬灯台、エレガ館	景観形成上重要な役割、建築上優秀	2
②指定・登録済みのもの(既指定等物件)				2
	市指定	屯田兵旧火薬庫	本市開拓の事績を示す建造物	1
	国登録	旧室蘭駅舎	現存最古の木造駅舎	1
③指定・登録等も可能なもの(指定等候補物件)				3
	国・道指定	(該当なし)		0
	市指定・国登録	円形校舎、大黒島灯台、カバン砲掩体	景観形成上重要、希少性高いなど	3
④指定・登録等にあたらぬもの(その他物件)				21
	上記以外			21

(今後の検討事項)


・上記以外に対象物件追加の検討

・「指定等候補物件」について、市指定・国登録に向けた精査検討

個別帳票(案)、資料2-3

## 室蘭市内に所在する歴史的建造物個別帳票

一覧番号( 3 )

物件名 ぶっけん めい 旧絵鞆小学校 円形校舎棟 きゅう えとも、しょうがっこう えんけい たいしや どう			
所在地	室蘭市祝津町2丁目112番1		
所有者	室蘭市		
構造・規模	S33 鉄筋コンクリート3階建、延1,816㎡ S34 鉄筋コンクリート3階建、延2,212㎡		
設計者 施工者	坂本 鹿名夫 (不明)	用途	当初 小学校校舎 現在 市庁舎 (一部閉鎖)
歴史特性 (○)	昭和33年・34年建築の校舎棟。 戦後の児童数急増に伴い、一時期普及した学校建築様式である円形校舎の一例。 市内の学校建築でも唯一の例である。	参考事項: 絵鞆小学校児童数 昭和22年 645名 昭和27年 1,002名 昭和32年 1,403名 昭和35年 1,617名	
建築特性 (◎)	二棟連結の円形校舎。 円形校舎は、複数棟建築されることを想定したものであるが、実際の複数棟建築例は多くない。 切り分けたバウムクーヘン状の内部間取り、螺旋階段など、円形校舎にしか見られないものがある。 また、暖房設備としてペチカが設けられている。	参考事項: 円形校舎 戦後坂本鹿名夫により考案・設計 昭和30年代人口増の中普及。資材等の節約、単年度建設可能という利点があった。反面、活用が制約される等の要因により、その後すたれた。 全国で100棟ほど建設されたとされるが、現在解体が進んでいる。	
景観特性 (◎)	二棟が連結した3階建ての円形校舎棟という特異な建築物であり、地域の景観形成上、大きな構成要素となっている。 白鳥大橋祝津側ランプ付近に立地し、祝津地区の景観形成上大きな役割を果たしている。 二棟連結であるが、片側の3階には体育館を設けている。このためドーム状の屋根で大きく張り出し、異なる印象を与える。	参考事項	
その他 (一)	敷地全体が埋蔵文化財包蔵地(絵鞆貝塚、道教委埋蔵文化財包蔵地登録番号J-01-04)として登録されている。	参考事項: 土地履歴 大正4年内務省より払下げ(室蘭町)	
総合評価 (◎)	戦後の歴史性を示す円形校舎棟であり、景観形成上も大きな要素となっている。市内はもとより道内的に見ても希少性が高い。	(参照文献等) 室蘭市史編さん委員会編『室蘭市史』第3巻: 614頁 武田明純編2011『室蘭の歴史的建造物に関する調査』第二巻	

## ■絵鞆貝塚の発掘調査について

### 1、概要

旧絵鞆小学校の敷地に所在する絵鞆貝塚は、明治・大正期から知られる貝塚遺跡である。遺跡の広がりや遺存状態を確認するため、国庫補助の元、発掘調査を実施。貝塚・人骨等の検出や、各種遺物が出土した。

### 2、調査概要

調査地 絵鞆町2丁目112-1  
期間 平成28年6月25日～11月5日  
面積 66㎡  
調査主体 室蘭市教育委員会

### 3、成果

- 遺跡の遺存状態を確認 (資料3-1)
  - 29か所の調査区を設定、掘削し堆積状況を確認
  - グラウンド側は削平されており、校舎側で遺跡の広がりを確認した
- 各種の遺構・遺物等を検出
  - 縄文後期の貝塚や人骨、土器・石器などの各種遺物が出土した
- 貝塚形成時期について新たな知見を得た
  - 従前、縄文中～後期にかけての貝塚として認識されていたが
  - 続縄文期以降に属する貝塚を検出し、継続した貝塚形成活動が明らかになった
- この地域に遺跡があることを市民に周知
  - 調査途中の7月に市民向けの現地説明会を実施、
  - 50～60名ほどの参加があり、実際の調査現場を実見いただいた

### 4、整理・報告

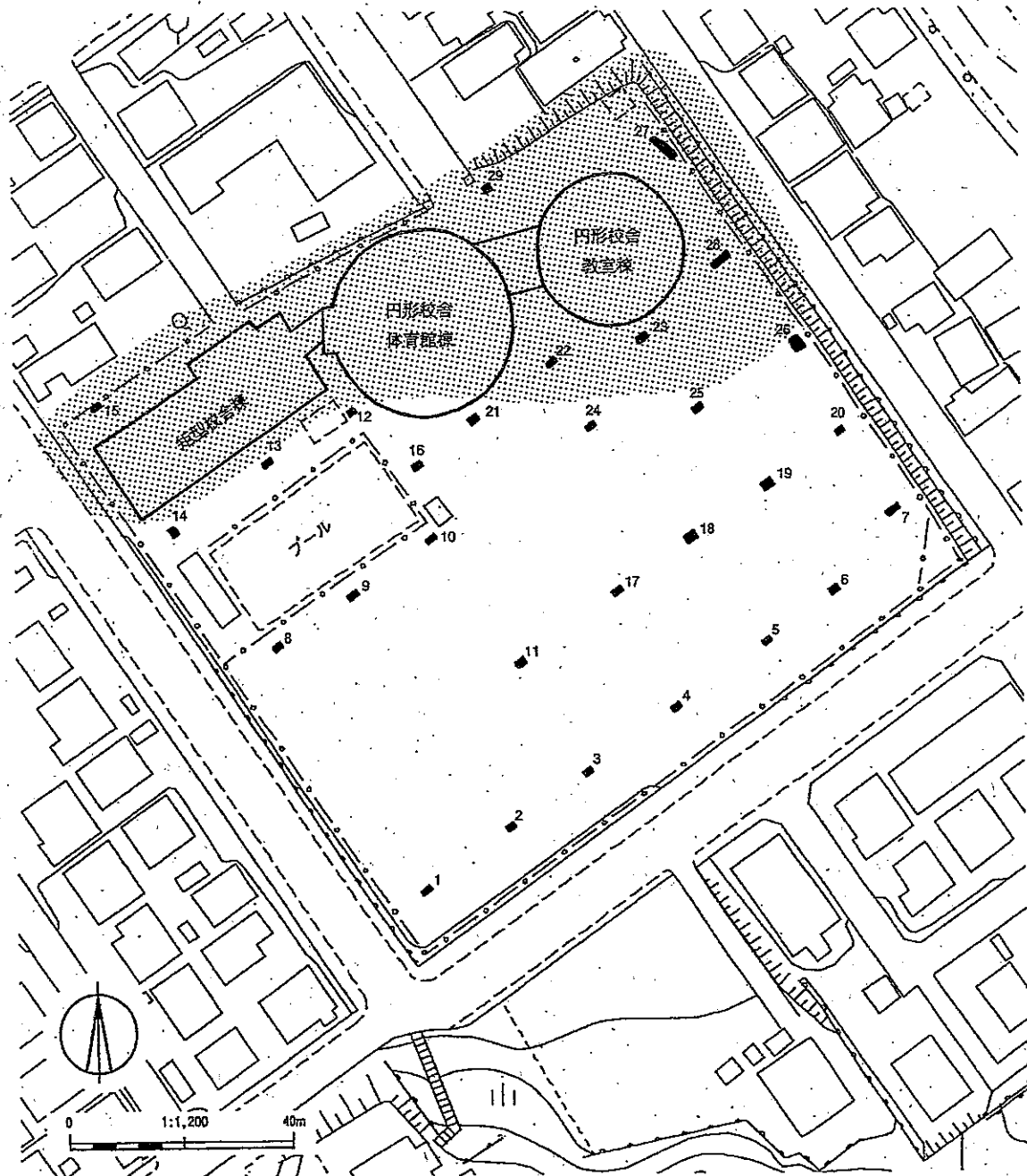
調査終了後、整理作業を実施し、記録・出土資料等を整理  
出土人骨は、札幌医科大学の松村教授、北海道文教大学の白幡准教授に分析鑑定を依頼  
年度末に報告書を刊行予定（現在最終校正中） 構成概要別紙のとおり（資料3-2）

### 5、その他

- 議会論議
  - 平成28年第1回定例会 一般質問 質疑概要別紙のとおり（資料3-3）
- 今後の整備検討スケジュール
  - H28 整備内容検討、文化庁協議、既存出土資料整理
  - H29 施設整備・展示複製等作成（国庫補助） H30 公開開始、ソフト事業展開

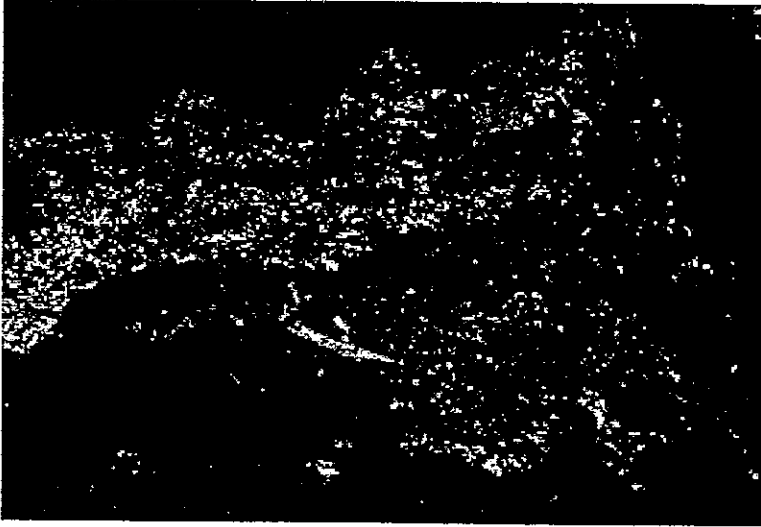


大正期の貝塚（北海道大学附属図書館提供）



調査区の配置（網掛け：遺跡の推定残存範囲）

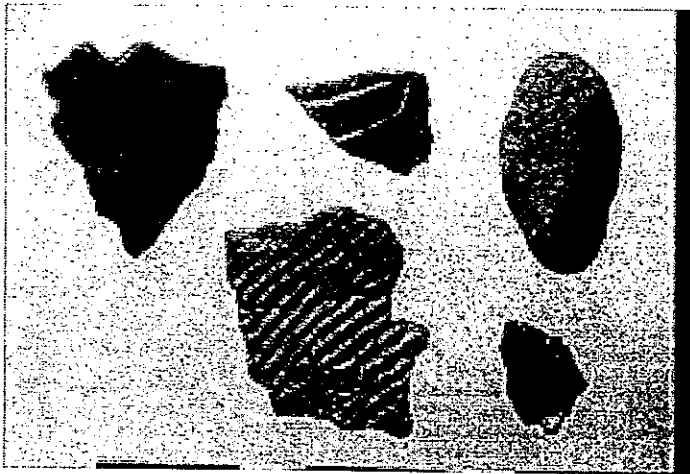




人骨出土状況（調査区 27、縄文後期）



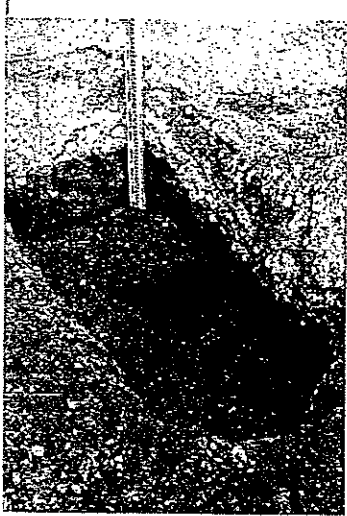
シカ骨出土状況（調査区 28）



出土遺物（土器・石器）



出土遺物（クジラ製骨角器）



続縄文期以降の貝塚（調査区 23）



現地説明会実施状況

室蘭市文化財調査報告書第4集

# 絵 鞆 貝 塚

詳細分布調査に伴う発掘調査報告書

室蘭市教育委員会

平成28年3月

## ■例言

- 1、本書は、平成 27 年度国庫補助事業埋蔵文化財緊急調査に基づいて実施した絵鞆貝塚の発掘調査報告書である。
- 2、シリーズ名は、「室蘭市文化財調査報告書」、巻次は第 4 集である。
- 3、本書の編集及び執筆は、室蘭市教育委員会生涯学習課の松田宏介が主に担当した。
- 4、出土人骨の分析鑑定については、札幌医科大学松村博文教授・北海道文教大学白幡知尋准教授に依頼し、玉稿をいただいた。
- 5、図や写真等のうち、出典を特に記していないものについては、このたびの調査に際し作成したものである。なお、図版 1 に掲載した大正期の貝塚写真（「貝塚（室蘭絵鞆小学校前）」）については、北海道大学附属図書館よりご提供いただいた。
- 6、調査の記録及び出土資料は、室蘭市教育委員会で保管する。
- 7、土層の色調表記は、日本色研事業株式会社刊行の『新版標準土色帖』（小山正忠・竹原秀雄編 1967、第 33 版）による。
- 8、調査区及び遺物に関する挿図の縮尺は、各図中にスケールと共に個別に記載した。
- 9、挿図中の方位には、磁北が含まれている。調査地の偏角は、西偏 9° 00′ である。
- 10、今回の発掘調査及び整理報告にあたり、以下の諸機関及び個人から、ご指導とご協力をいただいた（順不同。敬称略）。

文化庁文化財部記念物課、北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課：藤原秀樹・田才雅彦、財団法人北海道埋蔵文化財センター：長沼孝・大泰司統、西本豊宏、名古屋大学：新見倫子、北海道立図書館、北海道大学附属図書館、北海道大学埋蔵文化財調査センター：高倉純、東海大学博物館：木山克彦、旭川市博物館：瀬川拓郎、伊達市噴火湾文化研究所：青野友哉・伊達元成、登別市教育委員会：菅野信広・平塚理子、洞爺湖町教育委員会：角田隆志・三谷智広、豊浦町教育委員会：渡邊つづり、神田正衛、堀那都美、街道重昭、噴火湾考古学研究会、アプタ・フレナイの会、室蘭縄文文化研究会、室蘭地方史研究会、室蘭市文化財審議会、室蘭市民俗資料館

## ■本文目次

序文	i
例言	iii
本文目次	iii
挿図目次	iv
挿表目次	iv
写真図版目次	iv
1、調査の概要	
(1) 遺跡の概要	1
(2) 調査に至る経緯と事業経過	3

(3) 調査体制	5
(4) 調査及び整理の方法	5
2、調査の内容と結果	
(1) 基本層序	7
(2) 調査区	7
3、室蘭市絵鞆貝塚より出土した人骨について	23
(白幡知尋・松村博文)	
4、まとめ	
(1) 調査成果について	27
(2) 遺跡の復元的理解	30
引用・参考文献	31
写真図版	
報告書抄録・奥付	

#### ■挿図目次

図 1-1 絵鞆貝塚の位置	1
図 1-2 絵鞆半島先端部の遺跡群	2
図 1-3 戦前期における貝塚	4
図 1-4 調査区の配置	6
図 2-1 調査区の平面及び断面(1)	8
図 2-2 調査区の平面及び断面(2)	11
図 2-3 調査区の平面及び断面(3)	13
図 2-4 調査区の平面及び断面(4)	15
図 2-5 調査区の平面及び断面(5)	17
図 2-6 調査区 23・27・28 の配置	19
図 2-7 調査区の平面及び断面(6)	20
図 2-8 調査区の平面及び断面(7)	21
図 3-1 椎骨と肋骨	26
図 3-2 胸骨と上肢帯・上肢	26
図 3-3 下肢帯・下肢	26
図 3-4 第 3 胸椎(正中椎弓披裂)	26
図 3-5 腰仙移行椎	26
図 4-1 主な出土遺物	29

#### ■挿表目次

表 1-1 調査・発見履歴	2
表 1-2 貝塚の推移	3

表 2-1 基本層序	7
表 2-2 各調査区の土層注記(1)	9
表 2-3 各調査区の土層注記(2)	14
表 2-4 各調査区の土層注記(3)	18
表 2-5 各調査区の土層注記(4)	22
表 3-1 四肢骨計測値および示数	25
表 4-1 出土遺物の全体数量	28
表 4-2 掲載遺物属性一覧	28

#### ■写真図版目次

巻頭図版	人骨出土状況、クジラ骨製骨角器、動物骨出土状況
図版 1	遺跡現況、大正期の絵鞆貝塚調査区 1・2
図版 2	調査区 3～10
図版 3	調査区 11～16
図版 4	調査区 17～22
図版 5	調査区 23～25
図版 6	調査区 27、出土遺物
図版 7	調査区 27 出土遺物
	調査区 28、出土遺物
図版 8	調査区 29、刺突痕のあるホタテ
	現地説明会実施状況

## 報告書抄録

ふりがな	えともかいづか
書名	絵鞆貝塚
副書名	詳細分布調査に伴う発掘調査報告書
シリーズ名	室蘭市文化財調査報告書
シリーズ番号	第4集
編著者名	松田 宏介、白幡 知尋、松村 博文
編集機関	室蘭市教育委員会
所在地	〒051-8511 北海道室蘭市幸町1番2号 (電話0143-22-5094)
発行年月日	平成28年(西暦2016) 3月29日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
えとも かいづか 絵鞆貝塚	むろらんし 室蘭市 しゆづちよう 祝津町 ちようめ 2丁目 112-1	12050	J-01-04	42° 20' 22"	140° 57' 02"	20150625 ～ 20151105	66㎡	詳細分布 調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
絵鞆貝塚	貝塚遺跡	縄文(後 期、晩 期)、続縄 文期	貝塚、墓	土器・石器・骨 角器	祝津貝塚、アルトリ 貝塚とも呼称されて きた貝塚遺跡 貝塚は、縄文後期及 び続縄文期以降の ものを検出 縄文後期前葉の人 骨1体(成人女性)出 土

平成 28 年度第 1 回市議会定例会における関連審議(抜粋)

\*いずれも本会議一般質問

議員名	質問要旨	答弁要旨
立野浩靖 議員	旧絵鞆小学校は現在1棟が活用されている。遺跡調査の結果を踏まえ施設整備はどのように検討しているか	旧絵鞆小学校の発掘調査では、貝塚、縄文人骨が出土し、敷地内に今も遺跡が残っていることが確認。今後も、関係法令に基づき遺跡の適正な保存に努めてまいる。
	旧絵鞆小学校について、出土範囲はどのような結果だったのか。また、保存していく場所敷地の活用についてはどのように検討していくのか	出土範囲について、主にグラウンド側では遺跡が残されなく、円形校舎及び矩形校舎側で貝塚など検出。遺跡の広がりが見られた校舎棟を含む範囲は適正に保存し、地域に根差した遺跡や土地の歩みを実感できる活用策を検討。遺跡が見られなかった部分は、民間売却を含め、活用を関係部署と連携し検討。
	2棟連結した特徴的な円形校舎が2棟あり、市民団体からも保存活用を望む声があるが、この校舎についてはどのように考えているのか	円形校舎棟のうち体育館棟は耐震性がなく、現在一般の立入りを制限。2棟連結の円形校舎棟、非常に特徴的な歴史的建造物として、市民団体から保存活用の署名もいただいた。早急に解体などの予定はない。公共建築物再編計画の策定にあわせ、保存・活用の可能性や、将来的な維持コストも含め、関係部署と協議しながら対応について検討してまいる。
砂田尚子 議員	貴重な文化遺産である絵鞆貝塚の本市における位置づけ、認識について見解をうかがう	旧絵鞆小敷地周辺に位置する絵鞆貝塚は、市内に所在する貝塚として「最も大きいもの」として戦前から知られる。明治期から地元の収集家や道庁の調査員がたびたび発掘調査し、土器や石器、土偶などの遺物や、先史時代人骨が出土。市教委としましても、今年度実施した発掘調査において、敷地内に今も遺跡が残っていることや、人骨が出土したようにその内容の豊かさを改めて認識したところです。
	今年度遺跡の残りを把握するため調査を実施。絵鞆貝塚の出土資料などの展示公開の方法や時期について、検討の進捗はいかがか	今年度の発掘調査は、経緯や出土記録などを「調査報告書」としてまとめ公表する。出土した資料は、旧絵鞆小学校内での展示整備を計画。国庫補助制度も設けられており、既存出資料の整理を進め、平成 28 年度、国とも協議し検討してまいる。
	旧絵鞆小に整備する予定の遺跡出土資料展示施設については、「どこに」、どのような「コンセプト」で整備するのか。またその「事業費」は	遺跡資料等の展示設備は、絵鞆庁舎教室棟の 2 階部分を中心に、諸室機能を一体的に整備してまいる。本市は、豊かな自然環境の元、縄文以降の貝塚遺跡が多く「貝塚のまち」、また「続縄文」の提唱の契機となった本輪西貝塚から、「続縄文のまち」として著名。絵鞆庁舎では、「遺跡に触れ」、「地域の歩みを感じられる」ことが必要と考える。整備内容・事業費等は、国庫補助制度もあり、国・道等の関係機関と協議し検討。
	絵鞆貝塚の重要性を鑑み、「縄文の里」として敷地全体を一体的に整備することが必要と考える。市の見解は	遺跡から出土した資料の展示施設の整備及び活用策の詳細は、今後、市文化財審議会などで専門的なご意見をいただき、関係機関とも協議し検討。その中で敷地全体の活用についても、「遺跡や歴史を感じられる空間」としての整備も含め、検討。

南川達彦 議員	縄文遺跡の発掘調査について。今回の発掘調査の結果を踏まえて、今後、更なる調査の考えはあるのか	今年度実施した調査につきましては、遺跡の現在の残り具合等を把握するという目的で実施したものであり、旧絵鞆小敷地内で29箇所の調査区を設定し、発掘調査を実施した。 結果、おおまかにはグラウンド側では遺跡が残されていない、円形校舎側で貝塚等を検出したところ。当初の目的を達成することができ、新たに調査を実施する予定は現在ない。
	現在の民俗資料館の展示の整備・更新が行われたのはいつか。また旧絵鞆小と資料館でしっかり内容を区分し、整備・事業展開が必要と考えるが、市の見解は	民俗資料館の常設展示は、昭和55年の開館時に整備したもので、大規模な見直し、更新等を行ってきていない。 現在民俗資料館では、先史時代から戦争期までを対象とした展示を行っており、旧絵鞆小の遺跡出土品等の展示施設整備に併せ、両施設の展示内容等の精査についても、併せて検討してまいる。
	今年度の調査においては、貝塚から人骨も1体検出され広く注目されたところ。このような人骨の学術的な意義や価値は、どのようなものなのか この人骨資料はどういった特徴があり、今後、どのように取り扱われるのか	明治以来、本市ではたびたび先史人骨が検出。今回の調査では、1体の人骨が検出。調査区外には未だ多くの人骨等が埋蔵していると推測され、絵鞆貝塚の豊かさの一端を示している。 検出された人骨は、現在札幌医科大学・北海道文教大学の古人骨の専門家に鑑定・分析等を依頼。今年度末刊行の報告書で公表するところ。約4000年前の縄文後期の所産、30～40代の女性という所見。 保管等には、適正な保存管理、あるいは学術的な活用なども考慮し、大学機関等への寄託等も含め、今後検討してまいる。
	人骨は、実物展示は難しい面も推察される。複製など作成し、積極的に活用すべきと考えるが見解は	人骨につきましては、人のご遺体そのものであり、ご指摘のとおり実物の展示活用には注意を要し、難しい点も多くあるところ。複製の作成も含め、今後の展示等の整備の在り方に併せ、検討してまいる。
	アイヌ文化に対する道と市の考え方について	自然と共生し、長く道内で育まれたアイヌ文化は、日本の「先住民族文化」で、また北海道のかけがえのない「基層文化」。豊かな自然を基にした本市の歩みや特性の中にもアイヌ文化の伝統は多く息づく。今後もアイヌの伝統文化の保存や継承について、関係団体と協議し、取り組みを継続してまいる。
	今後、白老に整備されるアイヌ象徴空間に対する考えについて	国では、東京オリンピック開催に併せ、アイヌ文化に係る「民族共生の象徴となる空間」を整備。実施場所は白老に選定され、「慰霊施設」「博物館施設」などを予定。 北海道の基層文化としてかけがえのないアイヌ文化であり、地域の貴重な文化資産として、その価値を発信できるよう連携。
	市内のアイヌ文化を学べる場所について	市内でアイヌ文化を学ぶ機会として、民俗資料館の常設展示で民具等を展示・紹介。学校教育の場でも、小学校の副読本への掲載、アイヌ文化伝承アドバイザーのお招きなど実施。 アイヌ語地名と指し示す自然景観がよく保全される本市外海岸は、平成24年アイヌ文化に由来する国の名勝に指定。説明板の設置や、パンフレット等を作成し、講演会などで紹介している。
	アイヌ文化団体との市との連携状況についてうかがう。	地元の室蘭アイヌ協会では、例年絵鞆岬で「慰霊碑祭」を催し、「伝統儀式」の実施・継承活動が行われており、市でも参列。 市民見学会でも、これらの儀式の場を見学し、地元アイヌ文化の伝統や、高い精神性に触れる機会をいただいた。 今後も、関係者のご協力、また関係機関と連携を図りながら、アイヌ文化の伝承や市民への理解が促進するよう努めてまいる。

## ■市指定文化財及び出土鉄製品等の保存処理について

### 1、概要

市内の遺跡から出土した鉄製品等の保存処理及び、市指定文化財で状態の劣化が進行している物件について、修復・表具直し等の措置を実施した。

### 2、対象資料及び措置

#### (出土鉄製品等)

市内の埋蔵文化財包蔵地出土鉄製品等、21点

課題 錆ぶくれ等が顕著に生じ、滅失が進行していた

措置 脱塩措置の上、樹脂含浸により錆の進行を止める保存処理を実施  
適直接合・修復をあわせて実施した

#### (市指定文化財)

第4号の2 「仙台藩角田領添田家関係資料」 具足1領

課題 胴板のひび割れや、草刷りの脱落が進行していた

措置 錆ぶくれ等の除去のほか、滅失した部材（鎖・緘）などについては、類似したものを製作・交換

第4号の3 「仙台藩角田領添田家関係資料」 古文書のうち輪西氷の絵図

第13号 「胆振国室蘭郡全図」

課題 裏打ちなどの措置が不適切で、公開活用をなしえなく、状態の悪化を招いていた

措置 表具直しの上、額装

### 3、実施内容

#### ・委託先

出土鉄製品等 株式会社 吉田生物研究所 (京都)

具足 (同上)

絵図 2点 有限会社 大澤室内工芸 (市内)

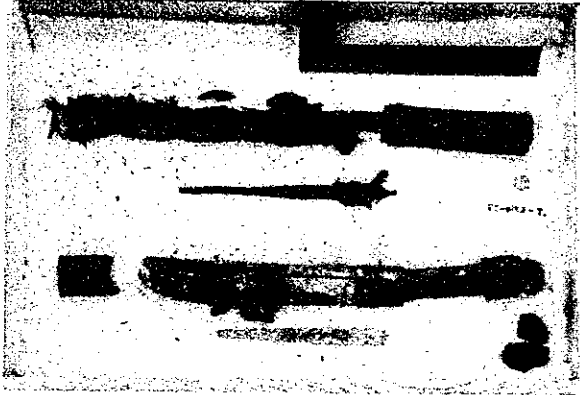
#### ・実施期間

出土鉄製品等・具足 平成27年5月～28年1月

絵図 平成28年1月～3月



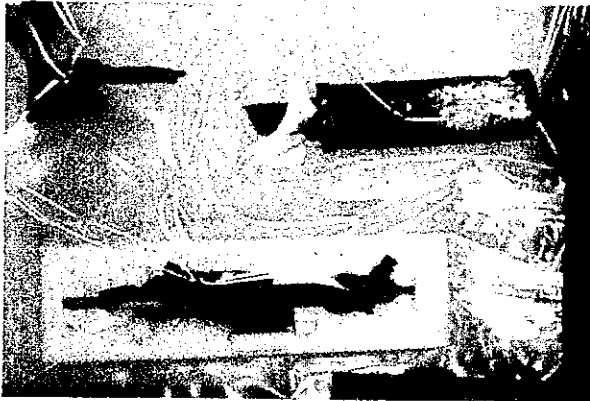
(出土鉄製品等)



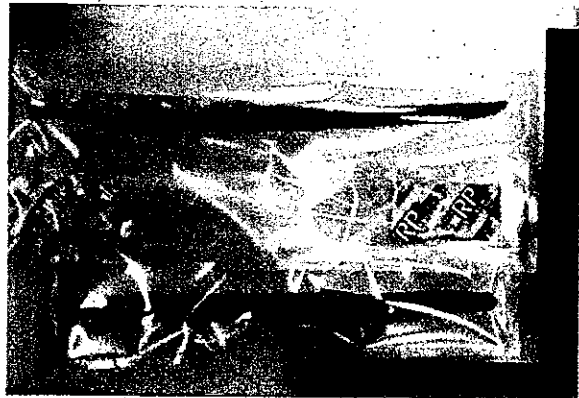
保存処理前 (エンルム遺跡出土資料)



同左



保存処理後



同左

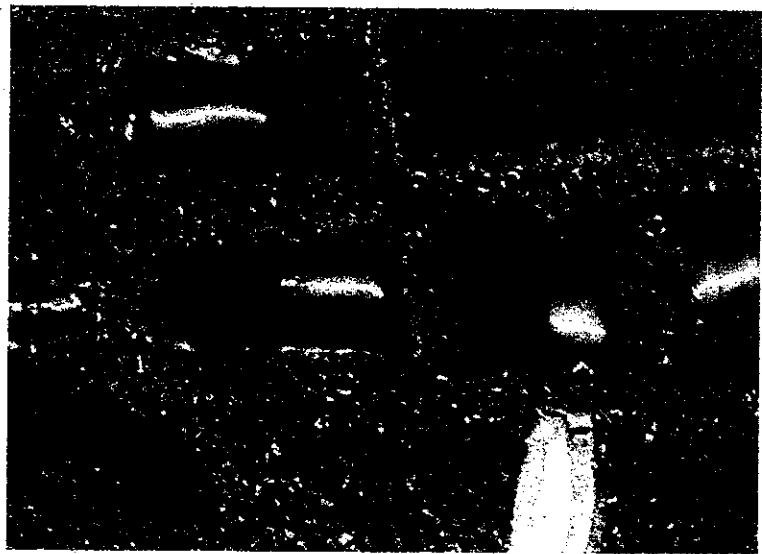


保存処理前 (崎守2遺跡出土資料)



処理後

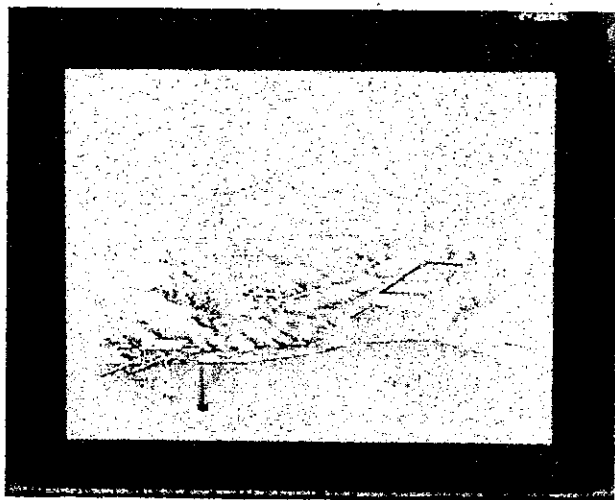
(市指定第4号:具足)



(市指定第4号及び第13号)



表具直し前



実施後

■室蘭市内に所在する歴史的建造物 現状一覧

資料2-2

No	名称	所在地	所有者	物件来歴	規模・構造	備考	歴史 建築 景観 其他	総合 判定
1	大黒島灯台	絵鞆4	室蘭市	T15築、S28改修	鉄筋コンクリート造 木造平屋下見板張、688.34㎡	M24設置、S49消灯		
2	函館どつく事務所	祝津1-128	株)函館どつく					
3	絵鞆小学校円形校舎棟	祝津2-112-1	室蘭市	S33/34	鉄筋コンクリート造3階			
4								
5								
6								
7								
8								
9	長谷川貿易ビル	海岸3-2-9	長谷川貿易(株)	旧樽崎倉庫・室蘭商業会議所事務所(~S2)	木骨れんが造2階、402.67㎡			
10	三ツ輪商会 海岸町倉庫	海岸3-2-7			石造平屋、74.38㎡			
11								
12	旧室蘭駅舎	海岸1-5-1	室蘭市	M45築の木造駅舎、S54内部改装、H11市観光案内所	木造2階、2,493.83㎡、がんざ	H11国登録有形		
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23	意山苑	常磐17-8	株)栗林商会	M42築の迎賓施設	木造平屋			
24								
25	チケウ岬灯台	母恋南4	国土交通省	T9築、H3無人化	鉄筋コンクリート造			
26								
27								
28	日本製鋼所 瑞泉閣	茶津4	株)日本製鋼所	M44築の皇族用迎賓館、S50改装、H19改装	木造平屋			
29	日本製鋼所 一号役宅	茶津4	株)日本製鋼所	T6築の職員倶楽部、S43別館・S52新館増築	木造2階建			
30	日本製鋼所 所長宅	茶津4	株)日本製鋼所	T1築	木造平屋			
31	日本製鋼所 瑞泉鍛刀所	茶津4	株)日本製鋼所	T7築、H19改修	木造平屋下見板張			
32	日本製鋼所 動力課ボイラー室	茶津4	株)日本製鋼所	M42築	鉄骨・れんが造、3,241㎡	旧発電所、H19経産省近代化産業遺産		
33	日本製鋼所 第一機械工場	茶津4	株)日本製鋼所	M42築	鉄骨・トタン板張・ノコギリ屋根、19,483㎡	旧機械B・A工場		
34	日本製鋼所 第二鉄鋼工場	茶津4	株)日本製鋼所	M42築	鉄骨・れんが造			
35	日本製鋼所 研究所	茶津4	株)日本製鋼所	M43築				
36	日本製鋼所 第一熱処理工場	茶津4	株)日本製鋼所	M43築	鉄骨・れんが造、1,990㎡	旧熱錬工場		
37	日本製鋼所 第三熱処理工場	茶津4	株)日本製鋼所	M43築	鉄骨一部れんが造、6,590㎡	旧熱錬工場		
38	日本製鋼所 第三機械工場	茶津4	株)日本製鋼所	M44築	鉄骨・れんが造			
39	日本製鋼所 第六鉄構工場	茶津4	株)日本製鋼所	M44築	鉄骨・れんが造、2,030㎡	旧材料倉庫		
40	知利別会館	知利別4-27-1	株)新日鐵住金		木造2階建、2,503.00㎡			
41	エレガ館	中島本5-8	株)新日鐵住金	H24閉鎖	木造2階建	H19経産省近代化産業遺産		
42	屯田兵旧火薬庫	宮の森1-1-6	中嶋神社	M19築、H18改修(市補助)	木造	S47市指定		

(\*5~23は、蘭西地区詳細図に図示) 評価:項目別に「○・△・×」で三段階評価。特に優れたものを「◎」とする。各項目を総合し、「◎」を指定・登録等に相当とする。所有者等の各記載事項は、H4年市開発振興課による「歴史的建造物等調査」を基に、加筆修正したものである

時代/年代	主な事項	関連する文化財			
		(有形)	(歴史的建造物)	(記念物・遺跡)	(無形・文化的景観)
地質～旧石器	地形形成進む (湖状から湾化、砂洲・低地部形成)			市白鳥湾海底部等出土の化石	自然
縄文 (早・前・中期) (後・晩期)	噴火湾岸に明確な人類の痕跡出現(早期) 大規模な定住集落・貝塚形成(前期) 土偶など精神的な文化が発達	土器・石器・骨角器など出土遺物 考古		イタンキ浜の鳴り砂 エンルム遺跡など 本輪西遺跡 知利別遺跡 絵鞆貝塚	自然 考古 考古 考古 考古
続縄文 (弥生併行) (古墳併行)	(「続縄文」:道内の非稲作文化)	国重文)輪西遺跡出土土偶(美工、東博) 考古 絵鞆貝塚出土土偶(東博) 考古 ワニシ出土土偶(旭川市博) 考古 本輪西貝塚出土資料(東大蔵) 考古		イタンキベシボツケ遺跡・イタンキ洞窟 本輪西貝塚、エンルムポン遺跡 大黒島遺跡 中島町遺跡 舟見町遺跡	考古 考古 考古 考古
擦文 アイヌ/中世 アイヌ/近世	慶長年間 絵鞆場所設置 1796 プロヴィデンス号来航	遺跡出土鉄製品など 考古		国名勝)ピリカノカ絵鞆半島外海岸 チャン跡(エンルム・ハシナウス) 増市岩陰・崎守2遺跡	アイヌ アイヌ語地名 アイヌ アイヌ
幕末	1856 南部藩警護	市)南部藩出土砲弾(美工) 港		国史跡)東蝦夷地南部藩陣屋跡・台場	港
	M3 仙台藩角田領関係入植 M5 海関所・トキカラモイに波止場 M6 札幌本道 M20・22 屯田兵入植 M24 大黒島灯台点灯 M25 鉄道敷設 M27 御崎町地先埋立・日清戦争 M33 蘭西9村1町に町制施行 M37・38 日露戦争 M40・42 輪西製鐵・日本製鋼所創業 M44 石炭高架棧橋設置	市)添田家関係資料・文書(民俗) 開拓 市)胆振国室蘭郡全図(美工) 開拓 市)石川家不動明王像(民俗) 開拓 市)屯田兵記念碑(美工) 開拓 市)屯田兵関係資料(民俗) 開拓 忠魂碑(八幡宮境内) 戦争	市)屯田兵旧火薬庫 開拓 蕨山苑 街並み 大黒島灯台 港	市)御供獅子舞 開拓 市)室蘭神楽 開拓	
大正	T5 区政施行(現在の市域) T6 東洋捕鯨事業所開設 T9 チケウ岬灯台点灯 T11 市制施行 T13 北日本汽船定期航路開設(～大湊)	市)室0号エンジン(美工) 市)瑞泉鍛刀所の轡(民俗)	日本製鋼所 建造物群 国登録)旧室蘭駅舎 石炭 日本製鋼所1号役宅・瑞泉鍛刀所 街並み 旧三菱鉱業社屋 長谷川貿易ビル 港 チケウ岬灯台 港 旧炭鉄汽船倶楽部 石炭		
昭和(戦前)	S2 内防波堤完成 移民問題で日米関係悪化 S3 長輪線全線開通(長万部～本輪西)	市)友情人形(美工) 戦争		井下家・相田家住宅(北炭) 石炭 旧丸越山口紙店 街並み 函館どつく事務所 港	
昭和(戦中)	S6 トランスポーター設置 S16 市史発行 S20 空襲・艦砲射撃受ける、終戦	戦時中物件 戦争 アメリカ軍艦砲弾 戦争		エレガ館・知利別会館 戦争 小橋内カノン砲掩体跡 戦争	戦争
昭和(戦後)	S22 占領解除、みなとまつり 戦後高度成長に伴い人口増加 S42 特定重要港湾 指定 S50s 外防波堤完成 H10 白鳥大橋完成			旧絵鞆小学校 円形校舎 街並み	工場と居住区の密集景観 街並み

(\*ゴチック:指定・登録物件、明朝:未指定等の物件)